

平成22年度保健福祉部業務研究等報告会

生活ケアで介護(看護)スタッフができる 機能訓練(?)・リハビリとは

平成22年度気仙沼管内特別養護老人ホーム
及び通所介護事業所機能訓練指導員支援事業を通じて



気仙沼保健福祉事務所 成人・高齢班
技師(理学療法士) 後藤 博音



平成23年2月3日(木) 県庁1階 みやぎ広報室

気仙沼圏域地域リハビリテーション広域支援センター ホームページアドレス
<http://www.pref.miyagi.jp/ks-health/kisou/seijinn/seijin11.htm>

はじめに

① 気仙沼圏域の現状と課題



② 気仙沼オリジナル事業

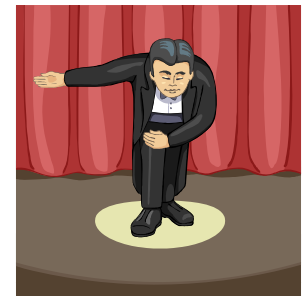
『機能訓練指導員支援事業』について

・目的 ・方法 ・内容 ・結果 ・まとめ



③ 県として支援すべきところ

in 気仙沼



地域リハビリテーション 体制整備推進事業（宮城県）

- ・地域リハビリテーション検討会等の開催
- ・**圏域体制整備事業**
- ・地域連携支援事業
- ・地域包括ケア・サポート事業
- ・従事者基礎研修事業

事業の
目的

圏域の課題解決に向けた

- ① 施設，事業所への重点的な助言・指導
- ② 助言した内容の定着化（サービスの質の向上）
- ③ 圏域全体への波及

現状と課題

(取組に至る経緯)



気仙沼圏域の現状①

【施設・事業所数】 平成23年1月現在。基準該当含む。

	特別養護 老人ホーム	通所介護 事業所
気仙沼市	6施設 (5施設)	17事業所 (14事業所)
南三陸町	1施設 (1施設)	2事業所 (2事業所)
管内合計	7施設 (6施設)	19事業所 (16事業所)

※ ()内:本事業実施時点で開設から1年以上経過している施設・事業所数

気仙沼圏域の現状②

【リハビリ専門職の所在】

特別養護老人ホーム，通所介護事業所にはリハビリの専門職（理学療法士，作業療法士，言語聴覚士）が**いない**。



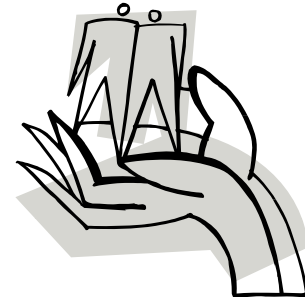
代理的な役割を，



- ・『**機能訓練指導員**』として**看護職員**が
- ・日常生活やレクリエーション，行事等を通じて行う機能訓練指導については，**生活相談員**や**介護職員**が担っている。

機能訓練指導員とは

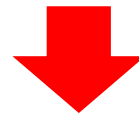
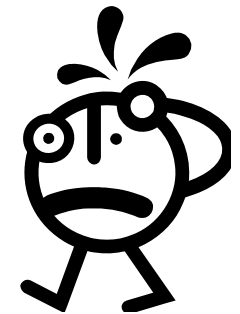
- ・特別養護老人ホーム，通所介護事業所等に1名以上の**配置義務**
- ・日常生活を営むのに必要な機能の改善，又は減退を防止するための訓練を行う
- ・理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，**看護職員**，柔道整復師又はあん摩マッサージ指圧師の資格を有する者



気仙沼圏域の課題

【特別養護老人ホーム及び通所介護事業所の
機能訓練指導員(看護職員)や介護職員の悩み】

- ・ 「機能訓練」って何？
- ・ 何をすればいいの？
- ・ リハビリ専門職と同じことをしなければならないの？
- ・ 介護現場では難しくてできません…



**機能訓練やリハビリに難しいイメージを
持っているため、現場で実施されていない！**

機能訓練指導員の看護職員や
生活相談員，介護職員が
実施する
『機能訓練』って何？

『リハビリ』の
イメージって
一体・・・??



機能訓練指導員実態調査



- ・期間：**平成22年6月**
- ・主体：**気仙沼保健福祉事務所**
- ・対象：**管内で事業開始より1年以上経過している
特別養護老人ホーム及び通所介護事業所**
- ・方法：**調査票による質問**
回答は各施設，事業所の**機能訓練指導員**

※ **回収率：100%**（22／22 [事業所・施設]）

質問：『個別機能訓練の内容・具体的行為のイメージを教えてください。（複数回答可）』

選択肢	回答数
筋力トレーニングや個別の体操などの医学的リハビリテーションエクササイズ	6
レクリエーションやクラブ活動等の中での機能活用の取組	16
生活リハビリテーションを含めた、全職員が日常介護行為の中で行うことができる機能活用と維持の取組	18
その他	2

※その他内訳

- ・軽度の体操を毎日20分くらい実施。
- ・午睡後に体操を行っている。レクリエーション活動時に脳トレや軽体操を実施。

リハビリテーションって何？

「リ」=「再び」

「ハビリテーション」=「適している」



再び適したものにすること



再びその人らしい生活ができるように
支援すること



その人らしい生活ができるように 支援するためのリハビリ

＜医療現場では＞

- ・筋力トレーニング
- ・関節可動域練習
- ・バランス練習
- ・歩行練習
- ・個別の体操 等



医師の指示のもと
リハビリ専門職が行う
医学的リハビリテーション・
エクササイズ

＜介護(生活支援)現場では＞

- ・日常の介護行為
- ・レクレーション, 趣味活動 等



これらの中で行うことができる
機能活用と維持の取組
(生活リハビリテーション,
リハビリテーション・ケア)



特別養護老人ホーム, 通所介
護事業所における機能訓練指
導員に求められること

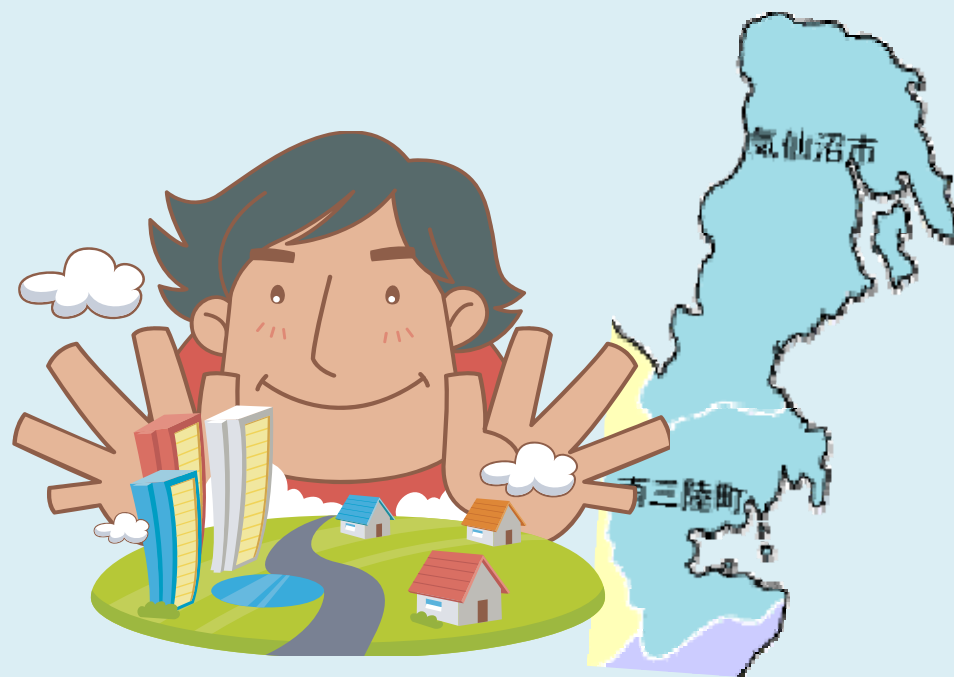
平成22年度
気仙沼管内

特別養護老人ホーム及び通所介護事業所
機能訓練指導員支援事業

の実施



实施目的

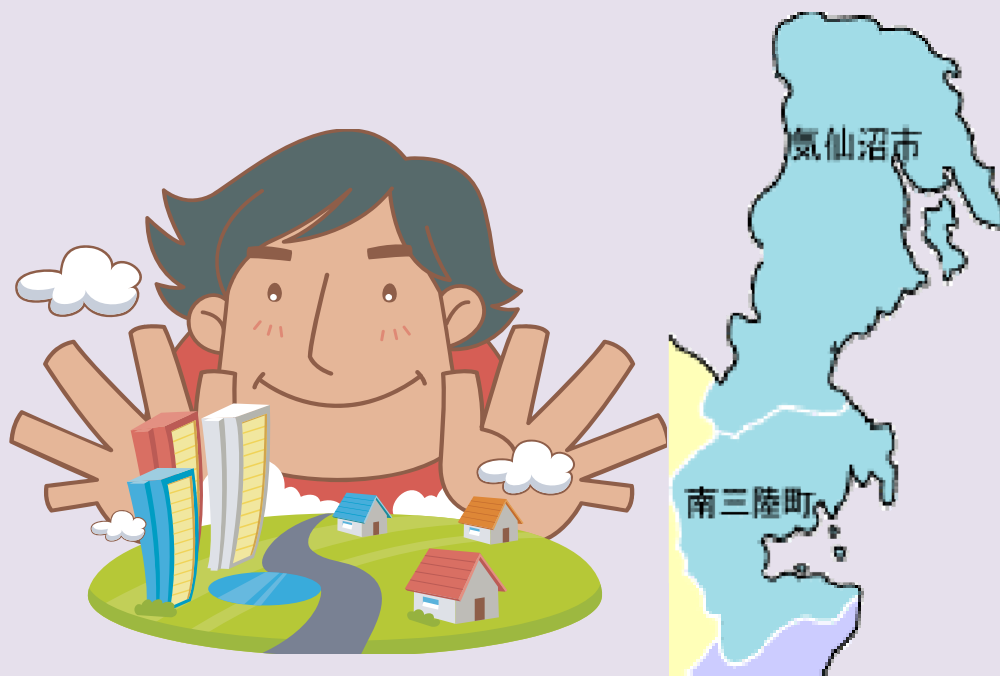


目的

- ・医学的リハビリテーションエクササイズではなく、**日常生活の中で必要な機能が活用され、生活能力が維持・改善される取組**の実践を促す。
- ・取組の気仙沼圏域全体への波及。
- ・特別養護老人ホーム及び通所介護事業所の機能訓練指導員を対象。



実施方法



実施方法①(流れ)

申込み

各施設・事業所1回まで

ケースの選定(3名まで)

事前レポートの作成



実施当日

導入・まとめを含め2時間半程度の助言

助言者:管内の理学(作業)療法士



実施後(1から2週間以内)

実施レポートの作成

取組の実践



実施後(2から3ヶ月以内)

実施経過レポートの作成

取組の評価

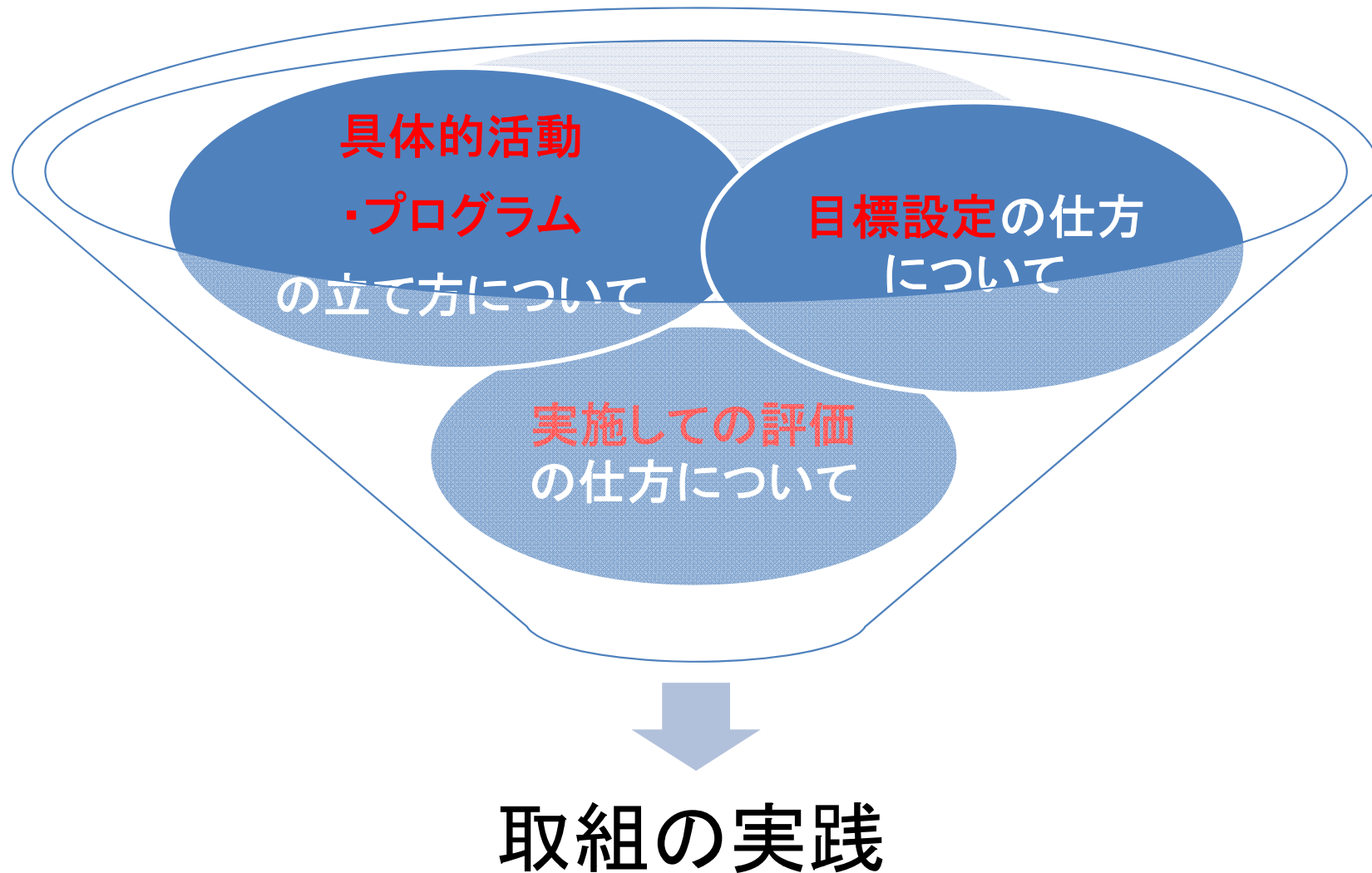


実践報告会

取組紹介

情報交換

実施方法②(助言内容)



レポート様式

平成22年度気仙沼管内特別養護老人ホーム及び通所介護事業所機能訓練指導員支援事業レポート

氏名	様	性別	男・女	年齢	歳
事業所・施設名		担当者		アドバイザー	氏

1. 事前レポート(平成22年 月 日)

<目的等> ①目標設定の仕方について ②プログラムの立て方について	<アドバイザーからのコメント>
---	-----------------

2. 実施レポート(平成22年 月 日)

<新たに分かりましたこと> ①目標設定の仕方について ②具体的活動・プログラムの立て方について ③実施しての評価の仕方について	<アドバイザーからのコメント>
--	-----------------

3. 実施経過レポート(平成22年 月 日)

<実施した感想、疑問点等>	<アドバイザーからのコメント>
---------------	-----------------

※上記「事前レポート」の記載とともに、別紙計画書の記載(具体的活動・プログラムまで)をお願い致します。
※計画書で記載の仕方が分からない箇所は空欄で結構です(アドバイザーに助言していただきます)。

※上記「事前レポート」の記載とともに、アドバイザーからのコメントにより修正した計画書(具体的活動・プログラムまで)をお願い致します。

※上記「実施経過レポート」の記載とともに、別紙計画書の記載(実施した活動等)をお願い致します。

疑問点 → **事前** ← **コメント**

実施直後

実施経過時

計画表様式

(別紙)計画表

氏名		様	性別	男・女	年齢	歳	担当者	
			介護度		サービス利用状況			

<全体像の把握>

1. 健康状態(疾患、服薬、リスクなど)

2. 生活機能
①心身機能・身体構造(心や身体で動かせる範囲など)

②活動(している)

③参加(友人)

3. 環境(家族、家族、使)

4. 生活歴(趣味や好きな活動)

本人の希望 家族の希望

<長期目標> 立案: 年 月 日

期限	
目標内容	
目標達成に為に 気を付けること	

上記目標達成のための短期目標

①第1次目標(まずは)

達成時期

目標内容

②第2次目標(2番目に達成する目標)

達成時期

目標内容

③第3次目標(3番目に達成する目標)

達成時期

目標内容

全体像

目標

(別紙)計画表

<具体的活動・プログラム> 立案: 年 月 日

①第1次目標達成のためにすること

内容	
頻度など	

②第2次目標達成のために

内容	
頻度など	

③第3次目標達成のために

内容	
頻度など	

<実施しての評価> ※3ヶ月に1回以上評価及び利用者へ説明。

評価日	年	月	日()	実施者	継続の有無
項目	評価結果				
実施状況	とても良い・良い・ふつう・良くない				継続・見直し
本人の満足度	とても良い・良い・ふつう・良くない				
効果	とても良い・良い・ふつう・良くない				
変化点など					

評価日	年	月	日()	実施者	継続の有無
項目	評価結果				
実施状況	とても良い・良い・ふつう・良くない				見直し
本人の満足度	とても良い・良い・ふつう・良くない				
効果	とても良い・良い・ふつう・良くない				
変化点など					

評価日	年	月	日()	実施者	継続の有無
項目	評価結果				
実施状況	とても良い・良い・ふつう・良くない				継続・見直し
本人の満足度	とても良い・良い・ふつう・良くない				
効果	とても良い・良い・ふつう・良くない				
変化点など					

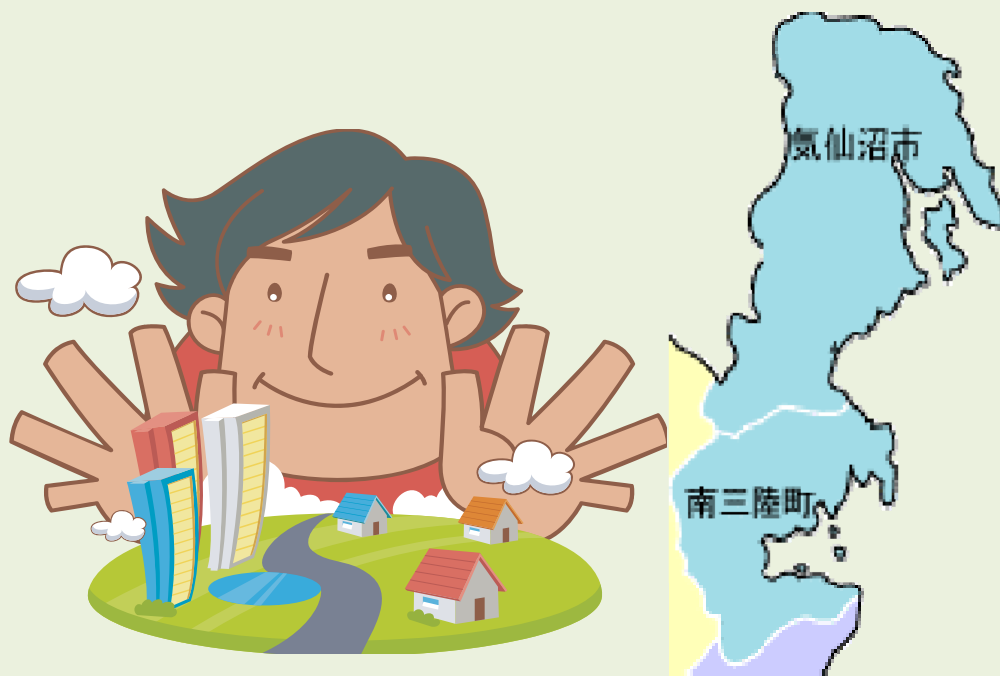
担当者から他スタッフへの申し送り等

(平成22年 月 日記載、担当:)

取組内容

実施評価

実施内容



助言者の方々



気仙沼管内の病院・介護老人保健施設
で働くリハビリ専門職

実施時の様子



御本人

助言者

生活相談員

機能訓練指導員
(准看護師)

介護職員

実践報告会



実施結果



事業結果

- ・申込み施設・事業所数：**8施設・事業所**
- ・実施率：**36.4%** (8 / 22 [施設・事業所])
- ・対象となった機能訓練指導員数：**9名**
(窓口となった生活相談員数：**4名**)
- ・相談のあったケース数：**21ケース**
- ・当日助言を聞いたスタッフ数：**約40名**
- ・行動変容：**事業評価アンケート**



事業評価アンケート

<対象>

事業に申込みのあった8施設・事業所の機能訓練指導員
及び窓口となった生活相談員 **計13名**（回収率:100%）

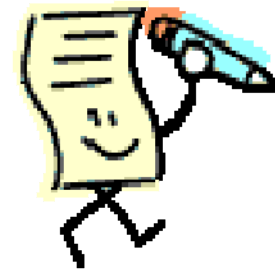
<質問>

『現在、**取組を実践**していますか。』

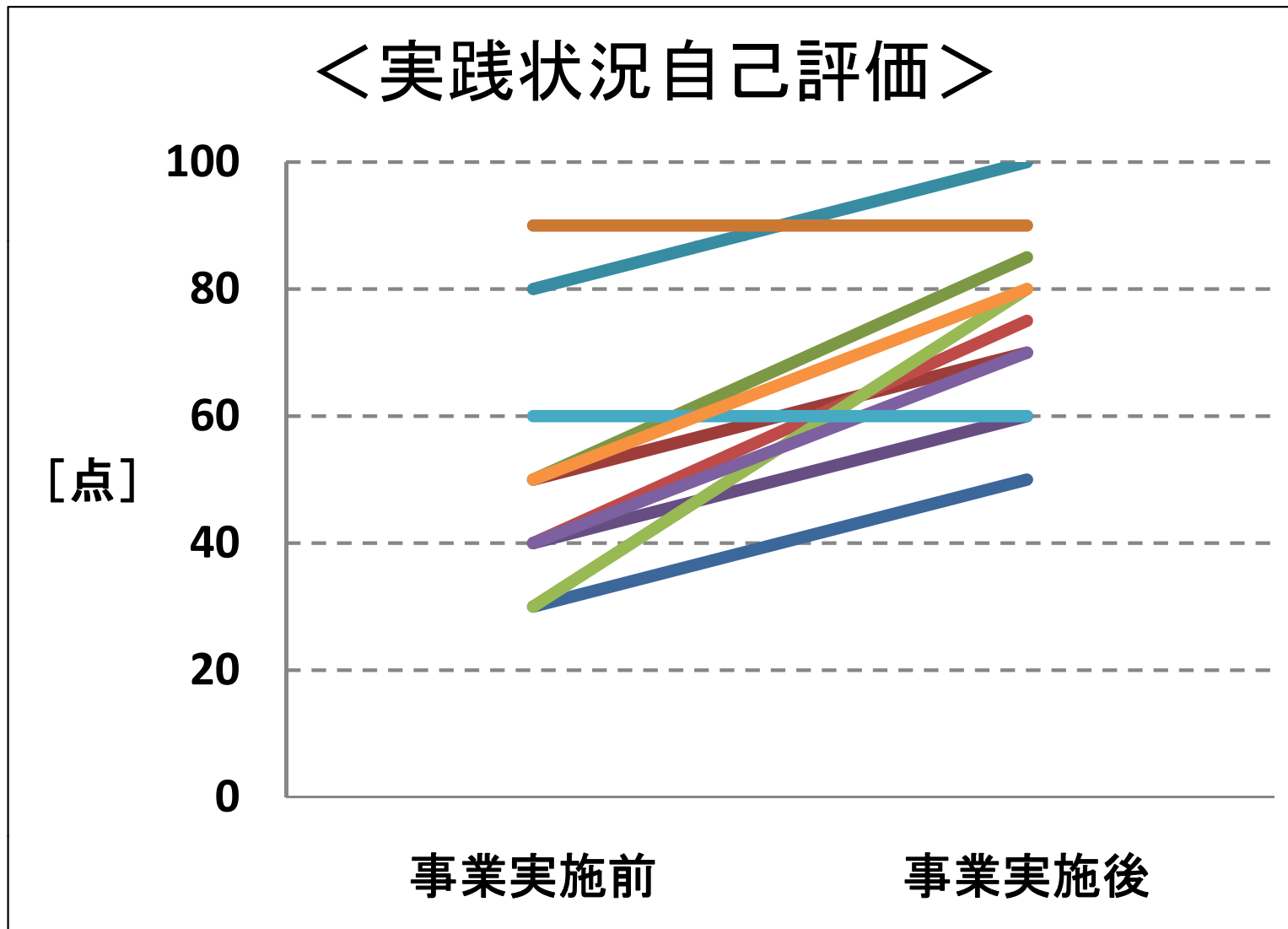
→ はい:100%

『**機能訓練**の内容・具体的行為の**イメージ**は変わりましたか。』

→ はい:100%



『事業実施前後における取組の実践状況を、
100点満点で表すと何点くらいになりますか。』





助言（提案）後の変化



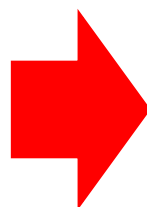
<助言（提案）前>

目標（期限なし）

身体機能の維持向上を目指す。

具体的活動・プログラム

- ・機能訓練に嚥下体操を取り入れる。
- ・話しやすい環境の提供。



<助言（提案）後>

目標（1年後）

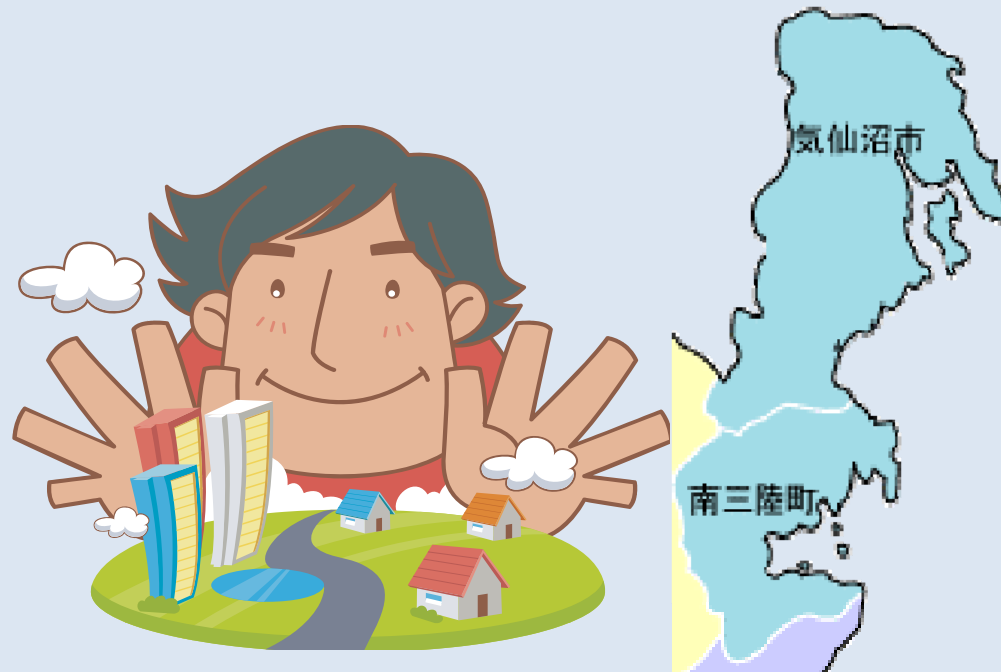
来年の夏祭りにステージでカラオケを1曲披露する。

具体的活動・プログラム

- ・少し離れた場所から声をかける（大きい声での会話）。
- ・合唱レクレーション
- ・一人カラオケ熱唱タイム

まとめ

(分析・評価)






事業を通しての“気づき”

- ・リハビリ＝筋力トレーニング??
- ・目的?手段?
- ・具体的な目標設定の大切さ!
- ・アセスメント(評価)＝測定??
- ・目標設定→取組・活動→検証の大切さ!



まとめ

- ・管内の特別養護老人ホーム及び通所介護事業所の機能訓練指導員を対象に**支援事業**を実施し、日常生活の中で必要な機能が活用される**取組の実践**を促した。 
- ・**実践報告会**を開催し、管内の他施設・事業所の機能訓練指導員にも**取組の波及**を促した。 
- ・助言を受けた機能訓練指導員**全員**が、事業実施後、
 - ① 現在**取組を実践している**
 - ② 機能訓練の内容・具体的行為の**イメージが変わった**と、回答した。実施前後の**自己採点**では**プラスの行動変容**が認められた。 

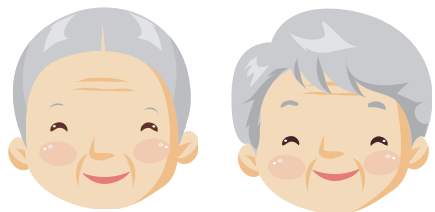
おわりに

～県として支援すべきところ in 気仙沼～

施設・事業所の生活支援(介護)現場の

機能訓練指導員に対して

- ① 限られた資源, 現状の中で**何ができるか**
- ② 「目標設定→取組→検証」の流れ, 生活ケア・リハビリの視点・切り口等の**基本的な考え方**
- ③ **他の**利用者・入所者の方々への**応用の仕方**



の提案・助言が必要である。

謝辞



御清聴誠に
ありがとうございました！



宮城県気仙沼保健福祉事務所
気仙沼圏域地域リハビリテーション広域支援センター
ホームページアドレス

<http://www.pref.miyagi.jp/ks-health/kisou/seijinn/seijin11.htm>